

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載
 ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
 ※3 4回線送電線(4バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し3回線(3バンク)分の容量を記載
- (2) 送電線の空容量は、同一送電線においても連系点によって異なる場合があるなど、連系点が定まらない状況で正確な空容量を算定することはできません。このため、本表における空容量の数値は 目安であり、ご希望の連系点によっては、空容量が増減する可能性があるため、送電系統への接続を希望される場合には、接続検討をお申込みいただき、その検討の中で連系点に応じた空容量を精査した上で、必要な対策を回答いたします。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 #1 基幹系ループ系統のため
 #2 1回線送電線のため
 #3 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 #4 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
 #5 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
 #6 2回線送電線の分割運用等のため
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系等考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討を行い必要な対策を回答します。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。なお、連系先設備が今後増強予定の場合、または、電源接続案件募集プロセスが現在進行中のエリアや、フェンス管理している送電線については、運用容量、または空容量、またはN-1電制適用可否・N-1電制適用可能量について別途検討が必要等の理由により、備考欄に「●」を記載しております。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (10) 電力広域的運営推進機関から示された「想定潮流の合理化」適用後の空容量です。
- (11) 空容量は主に送電線や変圧器容量に基づき算定しており、変電所構内機器の制約などは考慮していません。このため、連系にあたり変電所構内機器の取替が必要となる場合があります。
- (12) 会社間連系または他エリアとの接しよう送電線・変圧器であり電源の接続に関して別途協議が必要な設備については、備考欄に「◆」を記載しております。
- (13) 進行中の電源接続案件募集プロセスの状況によって、空き容量を見直す場合があります。
- (14) 離島については、系統規模が小さいことから、系統連系に係る申込みは個別に検討、協議させていただきます。
- (15) 暫定的な系統容量の確保は、不備のない契約申込み書類を受付けた日となりますが、公表している空容量は契約申込みの書類不備解消を確認してから算定しております。このため、空容量以下の容量の系統連系を希望される場合であっても、上位系統の送電設備の増強工事が必要となる場合があります。増強工事内容については、接続検討にて検討を行い回答いたします。
- (16) 配電用変圧器等の設備容量、運用容量値は、変圧器本体の値を記載しております。また、配電用変圧器等の空容量は、変圧器が複数台ある場合は各変圧器のうち最小値を記載しております。
- (17) ノンファーム型接続欄には、対象設備にノンファーム型接続を適用した場合、「適用」と記載しております。
- (18) ノンファーム適用系統欄のうち、当該設備欄は、その設備がノンファーム型接続の起因設備である場合、「対象」と記載しております。また、上位系のノンファーム設備欄には、ノンファーム型接続の起因となる上位系の設備番号(送電線No, 変電所No, フェンスNo)を記載しております。

(1)一次変圧器(275/66kV, 154/66kV)

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	ノンファーム型 接続	ノンファーム適用系統		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
101	下北	154	66	2	190	114	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
102	白糠	154	66	1	95	95	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	※1 ●
103	六ヶ所	154	66	2	152	68	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
104	上北	154	66	3	285	220	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	※2 ●
105	青森	154	66	3	380	276	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	※2 ●
106	北津軽	154	66	3	285	228	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	※2 ●
107	南津軽	154	66	3	285	228	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	※2 ●
108	六戸	154	66	2	190	114	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
109	八戸	154	66	3	332	228	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	※2 ●
110	南八戸	154	66	3	285	226	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	※2 ●
111	浦町	154	66	2	285	171	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●

※上表の空容量は、変圧器の一次側と二次側の母線空容量の小さい方を示しております。上表にない電気所の空容量は、電気所に接続する送電線の空容量を参考に確認をお願いいたします。

(2)配電用変圧器等(66/6.6kV, 66/33kVなど)

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	ノンファーム型 接続	ノンファーム適用系統		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノン ファーム設備	
1001	鯉ヶ沢	33	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1002	1002	33	6.6	1	2.8	2.8	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1003	稲生	66	6.6	2	33.2	33.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1004	浦町	66	6.6	3	76.0	76.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1005	岡町	66	6.6	3	52.2	52.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1006	沖館	66	6.6	3	66.5	66.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1007	1007	11	6.6	1	0.1	0.1	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		11	6.6	1	7.6	7.6	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1008	階上	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1009	岩木川	66	6.6	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1010	桔梗野	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1011	近川	66	6.6	2	28.5	28.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1012	金木	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	14.2	14.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1013	剣吉	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1014	古間木	66	6.6	3	47.4	47.4	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1015	菰植	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	14.2	14.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1016	五所川原	66	6.6	3	47.4	47.4	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1017	弘前城東	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1018	弘前	66	6.6	3	47.5	47.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1019	黒石	66	6.6	3	52.2	52.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1020	今別	66	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1021	佐井	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1022	三戸	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1023	三本松	66	6.6	3	47.4	47.4	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1024	市川	66	6.6	3	42.6	42.6	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1025	七戸	66	6.6	3	47.4	47.4	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1026	十三湖	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	14.2	14.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1027	十和田湖配電塔	33	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1028	1028	11	6.6	1	2.8	2.8	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	11	2	24.6	12.3	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1029	1029	66	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1030	小中野	66	6.6	3	56.9	56.9	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1031	小湊	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1032	1032	66	6.6	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1033	上北	66	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1034	尻内	66	6.6	2	33.2	33.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1035	新町野	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1036	深浦	66	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1037	吹上	66	6.6	3	47.4	47.4	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1038	瀬辺地	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1039	青森本町	66	6.6	2	57.0	57.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1040	泉野	66	6.6	3	52.2	52.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1041	1041	33	6.6	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1042	前山	66	6.6	2	33.2	33.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1043	相坂	66	6.6	3	47.4	47.4	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1044	大畑	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1045	大湊	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1046	大鰐	66	6.6	3	33.2	33.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1047	1047	66	6.6	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	14.2	14.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1048	中里	33	6.6	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1049	仲崎	66	6.6	2	15.2	15.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1050	堤町	66	6.6	3	47.4	47.4	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1051	田子配電塔	33	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	ノンファーム型 接続	ノンファーム適用系統		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノン ファーム設備	
1052	田代	66	6.6	1	2.8	2.8	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1053	東下田	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1054	東弘前	66	6.6	3	57.0	57.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1055	東通	66	6.6	2	15.2	15.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1056	南津軽	66	6.6	2	23.7	23.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		154	33	2	57.0	57.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1057	南八戸	66	6.6	2	19.9	19.9	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1058	南部古館	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1059	白糠	66	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1060	八戸	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1061	板柳	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1062	尾駈	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1063	1063	66	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1064	北弘前	66	6.6	3	61.7	61.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1065	北津軽	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1066	湊	66	6.6	3	66.5	66.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1067	木造	66	6.6	1	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1068	野辺地	66	6.6	2	19.9	19.9	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1069	1069	33	6.6	1	2.8	2.8	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1070	淋代平	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1071	浪岡	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1072	浪打	66	6.6	3	42.6	42.6	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1073	六ヶ所	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1074	六戸	66	6.6	1	14.2	14.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1075	脇元配電塔	33	6.6	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
1076	青森	154	33	1	47.5	47.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●